

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2002-58835(P2002-58835A)

【公開日】平成14年2月26日(2002.2.26)

【出願番号】特願2000-251718(P2000-251718)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月19日(2004.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技機に設けられた電気部品を制御するための処理を実行する電気部品制御マイクロコンピュータと、

前記電気部品制御マイクロコンピュータが制御を行う際に発生する変動データを記憶する変動データ記憶手段と、

操作に応じて操作信号を出力する操作手段と、

遊技機への電力供給が停止していても電力供給停止直前の前記変動データ記憶手段の記憶内容を保持させることができ記憶内容保持手段とを含み、

前記電気部品制御マイクロコンピュータは、

遊技機への電力供給が停止するときに、前記変動データ記憶手段に記憶内容が保存されていることを示す情報を前記変動データ記憶手段に保存するとともに、前記変動データ記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いるチェックデータを作成して前記変動データ記憶手段に保存する電力供給停止時処理を実行する電力供給停止時処理実行手段と、

遊技機への電力供給が開始されたときにのみ、前記操作手段からの操作信号が入力されているか否かを判定し、前記操作手段からの前記操作信号が入力されていると判定したときには、前記変動データ記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化手段と、

前記操作手段からの前記操作信号が入力されると判定されなかったことを条件に、前記変動データ記憶手段に前記情報が保存されているか否かを確認し、前記変動データ記憶手段に前記情報が保存されていることを確認したことを条件に、前記記憶内容保持手段により保持された前記変動データ記憶手段における前記チェックデータにもとづいて記憶内容が正常か否かの判定を行い、正常と判定したときに制御状態を電力供給停止直前の状態に復帰させる復帰手段とを含む

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

電気部品制御マイクロコンピュータが所定の信号を取得するための入力ポートが設けら

れ、

操作手段からの操作信号が前記入力ポートに入力される
請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技媒体を検出するための遊技媒体検出手段を備え、
前記遊技媒体検出手段からの検出信号は入力ポートに入力され、
電気部品制御マイクロコンピュータは、
前記遊技媒体検出手段からの検出信号を判定するために入力ポートの状態を複数回判定し、操作手段からの操作信号が入力されているか否かを判定するために入力ポートの状態を1回判定する

請求項 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

電力供給停止時処理実行手段は、電力供給停止時処理において変動データ記憶手段へのアクセスを禁止する処理を実行する

請求項 1 から請求項 3 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

電気部品制御マイクロコンピュータは、遊技媒体の払出を制御する払出制御マイクロコンピュータであり、

変動データ記憶手段が記憶する変動データは、遊技媒体の払出数のうち払出しが完了していない未払出数を特定可能なデータを含み、

操作手段からの操作信号が、前記払出制御マイクロコンピュータに入力される

請求項 1 から請求項 4 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】

遊技媒体を検出するための遊技媒体検出手段と、
遊技機で使用される所定の電源を監視して該電源の電圧が前記遊技媒体検出手段に供給される電圧よりも高い電圧である所定電圧に低下したことを検出したときに第1の検出信号を出力する第1の電源監視手段と、

前記第1の電源監視手段が監視する前記電源と同一電源を監視し、該電源の電圧が、前記第1の電源監視手段が前記第1の検出信号を出力するときの所定電圧よりも低く、電気部品制御マイクロコンピュータの駆動電源電圧よりも高く設定された検出電圧になったときに第2の検出信号を出力する第2の電源監視手段とを備え、

前記電気部品制御マイクロコンピュータは、前記第1の検出信号の入力に応じて電力供給停止時処理を実行し、

前記電気部品制御マイクロコンピュータは、前記第2の検出信号の入力に応じて動作停止状態とされる

請求項 1 から請求項 5 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

【課題を解決するための手段】

本発明による遊技機は、遊技者が所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技機に設けられた電気部品を制御するための処理を実行する電気部品制御マイクロコンピュータと、電気部品制御マイクロコンピュータが制御を行う際に発生する変動データを記憶する変動データ記憶手段（例えば、RAM）と、操作に応じて操作信号を出力する操作手段（例えば、クリアスイッチ921）と、遊技機への電力供給が停止していても電力供給停止直前の変動データ記憶手段の記憶内容（電力供給が停止されたことによって遊技が中断された場合に記憶される、電力供給停止直前の最終的な制御状態の内容を意味する）を

保持させることができない記憶内容保持手段とを含み、電気部品制御マイクロコンピュータは、遊技機への電力供給が停止するときに、変動データ記憶手段に記憶内容が保存されていることを示す情報を変動データ記憶手段に保存するとともに、変動データ記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いるチェックデータを作成して変動データ記憶手段に保存する電力供給停止時処理を実行する電力供給停止時処理実行手段と、遊技機への電力供給が開始されたときにのみ、操作手段からの操作信号が入力されているか否かを判定し、操作手段からの操作信号が入力されていると判定したときには、変動データ記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化手段と、操作手段からの操作信号が入力されていると判定されなかったことを条件に、変動データ記憶手段に情報が保存されているか否かを確認し、変動データ記憶手段に情報が保存されていることを確認したことを条件に、記憶内容保持手段により保持された変動データ記憶手段におけるチェックデータにもとづいて記憶内容が正常か否かの判定を行い、正常と判定したときに制御状態を電力供給停止直前の状態に復帰させる復帰手段とを含むことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

電気部品制御マイクロコンピュータが所定の信号を取得するための入力ポートが設けられ、操作手段からの操作信号（例えば、クリアスイッチ信号）が入力ポートに入力されることが好ましい。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

例えば遊技媒体出しや入賞を検出するための遊技媒体検出手段を備え、遊技媒体検出手段からの検出信号は入力ポートに入力され、電気部品制御マイクロコンピュータは、遊技媒体検出手段からの検出信号を判定するために入力ポートの状態を複数回判定し、操作手段からの操作信号が入力されているか否かを判定するために入力ポートの状態を1回判

定する。例えば、遊技媒体検出手段の信号は、少なくとも約0.002秒間隔の判定時期に2回連続してオン判定があった場合にオンと判定されるのに対し、操作手段の信号は、1回の判定時期にオンと判定されるとオンと判定される。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

電力供給停止時処理実行手段は、電力供給停止時処理において変動データ記憶手段へのアクセスを禁止する処理を実行することが好ましい。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

電気部品制御マイクロコンピュータは、遊技媒体の払出を制御する払出制御マイクロコンピュータであり、変動データ記憶手段が記憶する変動データは、遊技媒体の払出数のうち払出しが完了していない未払出数を特定可能なデータを含み、操作手段からの操作信号が、払出制御マイクロコンピュータに入力されるようにしてもよい。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0323

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0323】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、遊技機を、電気部品制御マイクロコンピュータが、電力供給再開時に記憶内容保持手段により保持されたチェックデータにもとづいて記憶内容が正常か否かの判定を行い、正常と判定した場合には制御状態を電力供給停止直前の状態に復帰させることができあり、操作手段からの操作信号が入力されていると判定したと

きに、記憶内容保持手段によって保持される記憶内容による制御を行わない構成としたので、遊技店員などの判断により、保存された制御状態に復旧させないようにすることができ、遊技店での遊技機運用上の利便性を向上させることができる。また、適正な制御状態に復帰させることができるので、保存されていたデータを電源復帰後に確実に活用することが可能となる。

また、電気部品制御マイクロコンピュータが、操作手段からの操作信号が入力されると判定されなかったことを条件に、変動データ記憶手段の記憶内容を初期化するとので、遊技店員などの判断により、電力供給開始による制御開始の初期段階でバックアップされていた制御状態をクリアすることができる。

さらに、操作手段からの操作信号が入力されていると判定されなかったときにのみチェックデータの内容が確認されるため、処理効率が向上する。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0324

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0325

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0326

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0327

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0327】

電気部品制御マイクロコンピュータが所定の信号を取得するための入力ポートが設けられ、操作手段からの操作信号が入力ポートに入力されるとした場合には、既存の入力ポートを利用した簡単な構成で、操作手段の操作の操作状態に応じて出力される例えば初期化信号を導入することが可能となる。また、操作手段の操作状態をソフトウェアによる監視によって判定することができる。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0328

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0328】

遊技媒体を検出するための遊技媒体検出手段を備え、遊技媒体検出手段からの検出信号を判定するために入力ポートの状態を複数回判定し、電気部品制御マイクロコンピュータは、操作手段からの操作信号が入力されているか否かを判定するために入力ポートの状態を1回判定する場合には、操作手段の操作状態を判定する処理と遊技媒体の検出ありを判

定する処理とを異なる処理とすることができます、それぞれの判定処理を明確に識別することができます。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0329

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0330

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0330】

電気部品制御マイクロコンピュータが、電力供給停止時処理において変動データ記憶手段へのアクセスを禁止する処理を実行するとした場合には、電源電圧が低下していくことに伴って生ずる可能性がある異常動作に起因するバックアップ記憶が格納されている領域（例えば、RAM）の内容破壊等を確実に防止することができ、その後の電源投入時に復旧されるRAMの保存データを確実に保護することができる。

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0331

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0331】

電気部品制御マイクロコンピュータは、遊技媒体の払出を制御する払出制御マイクロコンピュータであり、変動データ記憶手段が記憶する変動データは、遊技媒体の払出数のうち払出しが完了していない未払出数を特定可能なデータを含み、操作手段からの操作信号が、払出制御マイクロコンピュータに入力されるとした場合には、貸出要求に応じて払い出される遊技媒体の未払出数や、遊技の進行に応じて払い出される遊技媒体の未払出数をバックアップ記憶することが可能となるとともに、それらのバックアップデータを電力供給再開時に初期化することも可能となる。

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0332

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0333

【補正方法】削除

【補正の内容】